



学校教育目標

- 進んで学習する生徒
- 明るく心やさしい生徒
- 体を鍛える生徒

『蕨東のあいさつひとつで笑東に』

東中だより

生徒数(名)
男子 181
女子 165
計 346

令和6年1月9日 第10号

Tel 048・442・5370 Fax 048・442・5377

さわやか相談室 Tel 048・445・6692

E-mail higasijh@warabi.ne.jp



戸田市 道満 1/1 撮影

自分を信じて

校長 岡部 慎一

令和6年の年明けに際し、保護者、地域の皆様方に、謹んで新たな年のご挨拶を申し上げます。昨年中は、学校行事への応援やPTA活動など、本校教育活動にひとかたならぬご厚誼を賜り、誠にありがとうございました。本年も一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

この度一月一日に発生した能登半島地震におきまして、被災された方々に深くお見舞い申し上げます。また、被災地のご親戚・ご友人など、今なお安否を気遣っていらっしゃる方のご心痛は、計り知れないものとお察しします。被災地の復興を心よりお祈りさせていただきます。

本校においても、自然災害への対応など、安全の確保について、改めて確認して参ります。防災訓練の機会に生徒達には、もしもの際の備えについて伝えました。各ご家庭でも是非話題にあげいただき、家族で話しあっておかれることをお願いいたします。

さて、年末年始の報道を見たり、読んだりしながら、新年に際して私が生徒たちに伝えたいと思った言葉をいくつか紹介します。

- 「義務感から練習するのではなく、好奇心に基づきあれこれ試すことにした。その結果モチベーションが向上した。」
元陸上選手 為末 大さん(オリンピックや世界選手権を通じトラック種目で日本人男子初のメダリスト)
- 「ワールドカップでチャンピオンになることを、夢ではなく現実の目標として戦っていく。」
サッカー日本代表 森保 一監督
- 「選手たちは魂のこもった頑張りだった。(中略) 復路の選手も、自分を信じて輝いて欲しい。」
青山学院大学陸上部 原 晋監督 (第100回箱根駅伝、往路優勝後のインタビュー)

今年はパリでオリンピック・パラリンピックが開催され、スポーツへの気運も盛り上がるかもしれませんが。年頭の箱根駅伝は例年変わらず、心が熱くなるものでした。各校の実力は勿論ですが、これにかける各チームの思いと一本の櫂で心をつなぐ絆を感じ、「心」のもつ素晴らしい力に感動しました。

上記のコメントですが、私は考え方の変換、挑戦への決意、自分を信じるという自己肯定感が、それぞれ表現されていて、心の持ち方が重要だと感じました。このことはスポーツの世界だけでなく、学習や文化・芸術にも通じる側面だと思うのです。改めて、本校も子供たちの「心」を育てる教育を大切にしていくと共に、生徒たちには様々な場面で自分を信じて努力し続けたり、目標に向けて取り組んだりする心の大切さも伝えていきたいと思えます。生徒たちが希望をもち、自分の目標の実現に向けて歩いていけるよう、教職員一同、力を合わせて取り組んでいきたいと思えます。

今日から3学期、進路決定や卒業、進級と新たなステージに向け、本年度のまとめと次年度への準備となる大切な期間です。進路実現や授業、部活動、生徒会委員会活動など、決意を新たに一人一人が目標の実現に向け、充実した学期となることを期待しています。

最後に、学校評価についてご協力ありがとうございました。いただいた貴重なご意見を確認しながら生徒並びに教職員の評価結果も含め、職員全体で分析を進めて参ります。今年度の教育活動の大切なまとめですので、課題を捉え、改善に向けてチャレンジしていきたいと思えます。



東中の梅が開花していました 1/4 撮影